

鳥取RCC薬物療法講演会

トーリセル発売一周年

謹啓

時下、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。さてこの度、下記の要領にて学術講演会を開催する運びとなりました。時節柄、何かとご多忙とは存じますが、万障お繰り合わせのうえ、ご出席を賜りますようお願い申し上げます。

謹白



日時

2011年11月18日(金) 19:00~21:00



場所

米子全日空ホテル 飛鳥西の間
米子市久米町53-2 0859-36-1111

●『開会の辞』 19:00~

鳥取大学 腎泌尿器学 教授 武中 篤 先生

● 症例発表

座長 鳥取大学 腎泌尿器学 准教授 瀬島 健裕 先生

鳥取赤十字病院

大島 領 先生

【トーリセルにて12回投与を完了できた1例(仮)】

鳥取大学 腎泌尿器学 助教 八尾 昭久 先生

【当院でのトーリセル使用経験(仮)】

1演題 10分(発表7分・質疑3分)

● 特別講演

座長 鳥取大学 腎泌尿器学 教授 武中 篤 先生

『分子標的薬時代の腎癌治療:mTOR阻害剤を中心に(予定)』

演者 香川大学医学部

泌尿器・副腎・腎移植外科 教授 笥 善行 先生

●『閉会の辞』

鳥取大学 腎泌尿器学 教授 武中 篤 先生

なお、講演会終了後、ささやかではございますが情報交換の場をご用意しております。



主催 ファイザー株式会社